年間授業計画 新様式例

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 公民 科目 公共

教 科： 公民 科 目： 公共 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 M1 組～ C1 組

教科担当者： （ M1組：西 ） （ F1組：西 ） （ F2組：中竹 ） （ C1組：中竹 ）

使用教科書： （ 教育図書「公共」 ）

教科 公民 の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画するために必要な政治・経済の仕組みを理解する。
現代社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身につける

【思考力、判断力、表現力等】 法、政治及び経済などの側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題に対し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する

【学びに向かう力、人間性等】 現代社会の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自立した主体としてよりよい社会の形成に参画するために必要な政治・経済の仕組みを理解する 現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身につける	法、政治及び経済などの側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題に対し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現する	現実社会の諸課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	**公共的な空間を作る私たち** **～公共と人～** 公共的空間を形成するとはどういうことかについて、先人たちの思想を理解する	・指導事項：青年期の在り方、資本主義と社会主義、ソーシャルビジネス、自由と正義 ・教材：教科書、プリント ・一人１台端末の活用	【知識・技能】 自分自身が公共的空間の主体となり、よりよい社会の形成に結びつくことについて理解する 【思考・判断・表現】 他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的空間を作る存在であることにういて多面的・多角的に考察し，表現すること 【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養っている	○		○	10
	公共的な空間を作る私たち **～公共と倫理～** 公害問題や地球温暖化問題を通し、我々の社会の抱える課題について考察する	・指導事項：功利主義と義務論、地球温暖化問題、少子高齢化社会と医療費 ・教材：教科書、プリント ・一人１台端末の活用	【知識・技能】 選択・判断の手がかりとして功利主義、義務論などの考え方について理解する 【思考・判断・表現】 多数派の利益と少数派の犠牲という功利主義の問題点について思考し、表現している 【主体的に学習に取り組む態度】 自立した主体として公害や地球環境問題、少子高齢化社会の医療費問題のような社会問題にどのように向き合うべきか自覚を深めている	○	○		10
2学期	**現代社会の諸課題～法と政治～** 民主主義の原理や日本国憲法の原則など、法を中心とした社会の仕組みについて理解する	・指導事項：日本国憲法、三権分立、民主主義の基本概念 ・教材：教科書、プリント ・一人１台端末の活用	【知識・技能】 日本の法体系、法の分類、法の対象について理解している 【思考・判断・表現】 よりよい社会の実現のために法がどのような機能を果たしているか表現している 【主体的に学習に取り組む態度】 法について関心を持ち、巻末の法文にあたろうとしている	○		○	15
	現代社会の諸課題～経済～ 日本経済がたどってきた産業構造の変化と今後の働き方の可能性について学び，自らが働くことの意味や，生活とのバランスについて自覚を持つ	・指導事項：経済の仕組み、金融 ・教材：教科書、プリント ・一人１台端末の活用	【知識・技能】 日本経済の成長してきた経緯を踏まえ、今後の展望について理解している 【思考・判断・表現】 職業のあり方が産業構造の変化とともに変わることを念頭に、自らが就労する近い将来を見据えて、働くことの意味と価値を表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 労働問題や職業選択を通し、経済的主体としての自覚を深めている		○	○	15
3学期	**選挙と政治参加** 民主政治の基礎を支える選挙の仕組みについて学習し、さまざまな制度がなぜ必要とされるのかを理解する	・指導事項：選挙制度、政党政治 ・教材：教科書、プリント ・一人１台端末の活用	【知識・技能】 民主主義とは，国民に主権があるという基本的な考え方に基づき、これを実現するためにさまざまな選挙制度や法律があることを理解している 【思考・判断・表現】 個々の選挙制度についての利点と難点を、民意をよりよく反映させるという観点から説明することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 選挙に関心をもち、18歳になるときを想定して，主権者としての自覚を深めている	○		○	10
	安全保障と平和 地球規模の課題を通し、これまでの学習を振り返る	・指導事項：国連、構造的暴力、戦後日本外交 ・教材：教科書、プリント ・一人１台端末の活用	【知識及び技能】 戦後の日本外交や国連の歴史と，国際貢献の内容・課題点を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 国際社会における日本の国際貢献について、自らの考えを複合的な視点から説明している 【学びに向かう力、人間性等】 平和責任について主体的，具体的に考察する意欲がある		○	○	10
							合計 70